

算数科学習指導案

指導者 野島 禎雄

1. 日 時 2008年9月8日(月)第 校時

2. 学 級 さくら級(男2名 女3名)

3. 単元名 「答えが5まで、答えが9までのたしざん」

4. 本時の目標 A・B～具体物を使って答えが5までのたしざんができる
C・D～答えが9までのたしざんを具体物や半具体物を使って計算できる

5. 児童の実態

A	3年女子	5までの数がわかる。2つのものを合わせて数えることができる。
B	3年男子	5までの数がわかる。たしざんの意味がわかる。
C	3年女子	10までの数がわかる。答えが9までのたしざんを計算することができる。
D	4年女子	10までの数がわかる。具体物や半具体物を使ってたしざんができる。
E	6年男子	運動会の学年練習に参加

6. 本時の展開

学習活動	指導の留意点
1. 本時の学習の内容を知る	
2. 具体物を使って、たしざんをする。 A・B～答えが5まで C・D～答えが9まで	○A, B～・5までの数で学習する。 (数字を読んで、その数だけ具体物をおく。) ・2つのものを合わせて答えが5までのたしざんを計算する。 C・D～・9までの数で学習する。
3. プリントでたしざんの計算をする。	○具体物が必要な児童には、模型の車や算数ブロックを使った教材を用意する。 ○理解の不十分な児童には、一人用のホワイトボードを利用してタイルなどを操作させながら、たしざんの計算の習熟をはかる。
4. まとめ	

7. 評 価 具体物、数字を用いてたしざんができたか。